

公益財団法人 岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団
平成25年度 事業方針

一昨年3月に発生した東日本大震災及びその後の原子力発電所の事故等は、日本経済ならびに日本社会全体に大きな影響を与えました。

将来を見据えた復旧・復興の取組みも進んでいますが、この地域で震災等により被害を受けた文化会館等は、290施設にもおよんでおり、文化ホールとしての機能を回復できず再開の目処がまだ立たない施設も多くあり、復旧・復興の道のりは長いと考えられます。

また、社会経済情勢は、東日本大震災の影響等により依然として厳しい状況にあるといわれており、岡垣町の財政状況においても財政運営の指標となる経常収支比率などは、数値上は好ましい状況ではありますが、地方交付税をはじめとする依存財源の収入に大きく左右される状況にあり、今後も自立した行財政経営を行うため、自主財源の確保が喫緊の課題とされています。

このような中、本財団は、岡垣サンリーアイの指定管理者として、施設の管理・運営を、岡垣町との基本協定に基づき、町の第5次総合計画のまちづくりの基本理念に掲げる「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち 岡垣」を進めるため、文化・スポーツの拠点として地域に誇りを持ち個性あふれる人材の育成を行ってきました。

本財団では、今後も続く厳しい経済情勢が、本財団の運営にも影響するものと考えられることから、平成25年度も昨年度に引き続き管理・運営の効率化を図るとともに、厳しい外部環境に対応しつつ、着実に事業を推進することを目指します。

また、平成25年度は、岡垣サンリーアイが平成5年に開館してから20年目の節目を迎えます。

本財団は、震災以後、社会全体に活気がない状況の中、人々の心に「元気」を取り戻していくため、岡垣町の生涯学習・生涯スポーツの拠点である岡垣サンリーアイから「元気」を発信するとともに、心温まる時間と空間を創出し、人と人のつながり、心の安らぎを提供してきました。

平成25年度は、20年の節目を迎える岡垣サンリーアイを日頃

より利用していただいている地域の皆様に感謝し、さらに地域住民・利用者に愛される施設として管理・運営し、未来の岡垣サンリーアイのあるべき姿について、事業検証会議など、さまざまな方からご意見等を伺い、事業の検証を進めていきます。また、今までの歴史を整理し、公益法人として文化・スポーツの振興を図り、生涯学習の場の中心として充実するよう取り組んでまいります。

財団の運営については、理事会・評議員会を適宜開催し、公明性を確保するとともに、職員が規律を重んじながら相互協力をするこ
とで目標に向けた効率的で円滑な運営を図ってまいります。

また、地域住民・利用者が快適にそして気持ちよく利用していただけるよう職員の資質、やる気の向上を図ってまいります。特に、平成25年度においては、先進地への視察や、接遇研修などを行い、職員一人ひとりの業務に取り組む意識を高め、各係の業務の情報の共有化や連携を更に深めることにより、サンリーアイの目的である「ひとづくり」を進めてまいります。

施設の管理については、節電対策などコスト意識を持ちながら、利用者が安心して安全に利用できるよう、適切な施設の維持管理に

努め、子どもや高齢者及び障がい者の目線に立った施設の整備や改善を検討し、岡垣町と協議しながら進めてまいります。

また、計画的な施設・機械設備等大規模な整備によって施設の長寿命化が図られるよう岡垣町へ常に報告してまいります。

事業については、子供から大人まですべての利用者の文化・スポーツ活動の支援を目的に、きめ細かな公益事業を実施し、地域住民一人ひとりの生涯学習活動を支援していきます。

また、利用者の顧客管理、営業活動の充実などを行い、財団事業におけるチケット等収入の増加を目指します。

さらに、岡垣サンリーアイ開館20周年を記念して、地域住民や利用者の交流の輪が広がり、岡垣町・岡垣サンリーアイが発展していくにふさわしい事業として、より多くの方に利用、参加、鑑賞していただけるよう開館20周年記念参加参画型事業や記念コンサートの実施、既存事業の充実を図ってまいります。

なお、これら事業は、早くから住民に参画をお願いし、人々が集い、考え、企画し、主体的に活動できる実行委員会形式により、住民の思いを尊重しながら、住民が感動する事業活動を展開してまい

りました。

今後も、協働による地域の文化・スポーツづくりが進むように、岡垣サンリーアイのボランティア企画集団として活動している「さんりん舎」との共同企画や各事業実行委員会への参加などを行うとともに、日頃から人材の発掘・登録・確保を行い住民が活動し易い環境づくりを行います。

図書館については、蔵書数の検討や低年齢層から本に親しむことができる環境づくりを行い、読書の推進と利用者の増加を図るとともに、図書として収集・整理した資料等によって学習機会や学習の場を提供し、地域住民の教育と文化の発展に努めます。

また、子どもだけではなく、家族で楽しめる事業を企画し、読書の推進につなげていきます。さらに、視聴覚資料の DVD 化や書籍の寄贈募集を広く行い、蔵書構成を更に充実させ地域住民に愛される図書館づくりを行ってまいります。

平成25年度 事業計画

地域文化・スポーツの発展と普及に努めるため、多種多様な事業を積極的に行うとともに、人材育成と交流の場を提供し、住民と協働して効率的な事業を展開します。また、共催事業や補助事業（国・県）の誘致にも積極的に取り組みます。

さらに平成25年度は、岡垣サンリーアイが開館20周年を迎えることから、「サンリーアイから感謝を込めて」をコンセプトに20歳になったサンリーアイより、今まで利用し育てて頂いた地域の皆様に「感謝の気持ち」をお届けし、これからも地域の皆様のいこいの場として親しめ、感動する事業を実施します。

（1）鑑賞事業

著名で一流のアーティストによるコンサートや質の高い演劇・演芸公演等の文化芸術イベントを鑑賞する機会を低廉な価格で不特定多数の方に提供する事業です。

① 開館20周年記念事業

【開館20周年記念コンサート】

文化・スポーツの発信拠点として、地域の皆様に育てて頂いたことに感謝の気持ちを込めて、全国的に有名なフォーク歌手（杉田二郎・ばんばひろふみ・因幡晃・太田裕美）のコンサートを開催します。

【夏休みファミリーイベント】

地域の子どもたちが、岡垣サンリーアイに親しみ、そして楽しむことで、将来の利用につなげる夏休みファミリーイベントを開催します。

【えもと きよひこ氏 作品展覧会】

20周年の記念として東日本大震災復興事業記念貨幣のデザインのひとつにも選ばれた岡垣町在住の版画家「えもと きよひこ氏」の作品の展覧会を開催し、郷土の芸術家を広く地域の皆様に周知します。

② 講演会事業

【いちご塾】

生涯学習の推進及び地域文化レベルの向上、ひとづくりを目的とした講演会で、各ジャンルで活躍中の著名人を講師として招聘し、年8回開催します。

講演会の前には、地域の伝統・文化の紹介の場として「プラザ風と波」を開催し地域住民に発表の場を提供します。運営は「いちご塾実

行委員会」との協働で行っており、実行委員会の維持、強化に努め、内容の充実を図ります。

なお、平成25年度は、この8回の講演会の中に、過去に出演した講師の中から人気のあった講師を招聘し「もう一度あの人を」の20周年企画を行います。

③ 音楽事業

【カンタービレ・サロン・コンサート17】

九州に縁のあるアーティストを中心に、国内外で活躍中の音楽家を招聘し、年3回開催します。運営は実行委員会との協働で行いません。

収容人員100名程度の小ホールを会場とすることにより、演奏者と観客との距離が非常に近く、アットホームで贅沢な、独創性の高いコンサートを提供します。

なお、平成25年度は、このコンサートの前に行われるリハーサルを公開し、地域の音楽愛好家の育成に努めます。

④ 演劇事業

【劇団飛行船マスクプレイミュージカル】

子どもたちの「心の成長」を側面から応援することを目的に、幼稚園児や小学生低学年を対象に童話や昔話を題材にしたマスクミュージカルを2月に開催します。（1日2公演）

⑤ 映画事業

子どもから大人まで、ファミリーで楽しめる内容の映画を年1本上映します。（共催事業）

(2) 参加事業

岡垣サンリーアイ運営の基本方針である「住民が育つ、住民が行う、住民が鑑賞する。そして住民が感動する」に基づき、地域住民に発表の場を提供し、地域文化の活性化と文化レベル向上を目的とする事業です。

① 開館20周年記念事業

【開館20周年記念参加参画型事業】

地域と一体となった記念事業として、幅広く多くの利用者と共に20周年を祝うことを目的に、実行委員会形式による参加・参画型の音楽事業を開催します。

② 音楽事業

【ぴあのリレーマラソン11】

地域のピアノ愛好者の方々に音楽的に上質な環境の中で演奏する機

会を提供することを目的に、音楽のある町づくり事業の一環として、実行委員会との協働で開催します。（2日間）

【第17回 ゆめフェスタ・サンリーアイ】

地域住民に親子でイベントを鑑賞する機会を提供するとともに、ボランティア企画集団「さんりん舎」の活動の場の提供と育成を目的とした、住民との協働による事業を12月に開催します。

【いちご畑のコンサート】

地域の音楽愛好家に演奏（発表）の場を提供し、育成することを目的としたコンサート。音楽のある町づくり事業の一環として、エントランスホール特設会場にて年24回開催します。

③ 演劇事業

【第12回 岡垣ふるさと物語】

地域の民話を地域住民が自らの手で掘りおこし、後世に語り継ぎ、岡垣の文化を継承していくことを目的に、「さんりん舎」の活動の場の提供と育成を図る住民参加・参画型事業として開催します。

④ 美術展事業

【2013 岡垣アートフェスティバル12】（共催事業）

岡垣町で活躍中の芸術家に出品を呼びかけ、作家には展示会場を提供し、町民には優秀な作品を身近に鑑賞できる機会を提供することを目的に実行委員会との協働により開催します。（10日間）

【第15回 おはようスケッチ大会（共催事業）】

本事業は、スケッチを通して、子どもたちの地域への関心を高め、豊かな心を育むことを目的に実施します。出品作品はサンリーアイ館内に展示し、一般の方に鑑賞する機会を提供します。

⑤ 町委託事業

【核兵器廃絶平和の町宣言事業】（町委託事業）

岡垣町の核兵器廃絶平和の町宣言に基づき、広く住民が平和について考え、平和を願う機会を持つことで、核兵器廃絶につながることを目的に町より委託を受け実施します。

教育委員会との連携により、町内小学校（6年生）の平和事業として取り組むとともに、協力団体「さんりん舎」のサポートにより、参加児童が発表を行ないます。

(3) 講座事業

地域住民の文化やスポーツ振興及び生涯学習の拠点として、地域住民の学習の場、活動のすそ野の拡大及び地域文化向上の場を提供する事業。

① レギュラー講座

趣味教養講座を中心に、舞踊、音楽、ダンス、手芸、工芸、茶道、料理、外国語、パソコン、絵画講座など、多種多様なレギュラー講座を年間約100講座（月平均）開講し、原則、各講座毎月3回（年36回）実施します。

また、受講料等の支払手続きに講座引き落としを導入し、受講生の利便性を図ります。さらにホームページの充実などにより、講座の成果などを積極的にきめ細やかに発信し、新規受講生の獲得と受講意欲の向上を図ります。

② スポット講座

手ごろな文化活動の入口として、季節や流行に応じた、原則、単発的な講座を年間約50講座実施します。

③ 体験会・説明会

新規講座の開講や新規受講生の獲得のため、年間約50講座の体験会や説明会を実施します。

④ カルチャーフェスタ

講師および受講生に日頃の練習の成果を発表する場や作品展示の場を提供するとともに、文化講座のPRを目的に実施します。

⑤ Happyカルチャー！

文化講座1年間の集大成として、全講座の講師及び受講生を対象に発表・作品展示の場を提供することにより、講座の質の向上と受講生相互の交流を深め、広く地域住民に文化講座をPRするために実施します。年1回。（3日間）

(4) 図書事業

情報の発信基地として、地域住民の知的要求に応じて必要な資料の提供を行い、学習の機会や場所を提供し、サービスの向上に努めます。

また、幅広い図書を構成し蔵書を増やしていくため、地域の皆様に広く寄贈を呼びかけていきます。さらに、来館者に利用しやすい図書館づくりを行うため館内の限られたスペースを有効に利用し、図書資料等をわかりやすく配置していきます。

① 夏休み期間中の子ども達への読書支援事業

【スタンプラリー】

読書の楽しさを体験することを目的に、冊数に応じてスタンプを押

し、読んだ本を記入できる読書ノートを提供します。

【工作教室】

身近にある材料を使って簡単な工作をし、作る喜びを味わうとともに、図書館にある関連本を紹介し、多様な本に対する関心を持っていただきます。

【読書感想文・感想画募集】

読書の感想を文章や画に表現する機会を提供することで、読書の楽しさの一つとして体験していただき、読書推進につなげます。

【DVD上映会】

図書館に所蔵する視聴覚資料を利用し、文字ではなく映像で受ける感動を、視聴覚資料や図書の利用につなげていきます。

② 読書普及事業

【図書館まつり】

図書館ボランティアで組織する図書館まつり実行委員会と協力して、秋の読書週間の時期に実施します。雑誌・本のリサイクル、布の絵本展示、おはなし会スペシャル、絵本の原画展（えもときよひこ氏）等、子どもから大人まで楽しめる企画を開催し図書の利用増進を図ります。

【子ども図書館員】

子ども達に図書館の仕事を体験していただくことで、図書館に親しみを持ってもらい、読書に関心をもたせます。

【折り紙教室】

子ども読書の日企画として実施します。子ども達に折り紙という身近な創作の世界を知っていただき、関連本の紹介をすることで、身近な情報機関としての図書館の楽しさを周知します。

【読書会】

集まった会員で同じ本を読み、その感想など意見交換することで、様々な視点や解釈を知り、会員相互の自己啓発を図ります。

【配送サービス】

低年齢層から本に親しむことを目的に、幼稚園、保育所、小・中学校、学童保育所、子ども未来館などへ、各年齢にあった資料を選定して定期的に配送します。

③ ボランティア育成事業

読み聞かせ、布の絵本制作、書棚整理・本の修理などボランティアの皆さんの技術向上のために定期的に研修会を行います。また、随時ボランティアを募集し会員の育成に努めます。

(5) スポーツ事業

地域におけるスポーツ振興と、スポーツを通じた地域住民の心身の健康づくりを目的に、プロスポーツ等を鑑賞する機会の提供や各種スポーツ大会等に参加する機会を提供する事業です。

【第14回 アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣】

バドミントンの普及発展とバドミントンジュニアの育成と交流を目的に、全国各地の精鋭ジュニアクラブが集い競い合う、バドミントン選手権大会を実行委員会との協働により開催します（3日間）。

【2013サンリーアイオープン・ソフトバレーボール大会】

ソフトバレーボールの普及発展と技術向上、並びに地域住民の健康と体力増進や明るいコミュニティづくりに寄与することを目的に県内近隣地域のソフトバレーボール愛好者を対象に、実行委員会との協働による地域密着型の事業として年2回（夏季・冬季）開催します。

【その他の事業】

スポーツの普及発展と技術向上及び、児童・生徒の健全育成を目的にジュニアを対象にした共催事業を開催します。また、各種スポーツのクリニックを行います。

・「第32回福岡県少年空手道選手権大会」

・「ときめきカップ IN FUKUOKA 2013」

(6) 施設運営事業

地域住民に「活動・交流の場の提供」を行い、地域住民が気軽に行えるコミュニティスペースの提供に寄与します。

① 組織運営

組織の運営については、職員研修を積極的に実施することにより、ガバナンス（内部統治）の徹底を図り、研修等を通じて法令等の理解の促進及び法令遵守の意識を高めます。

また、危機管理の面においては、近年の地震や集中豪雨などの事態に備えて、危機管理体制を再度点検するとともに、危機管理マニュアルの作成等を通じて一層の充実を図ります。

② 施設管理運営

施設の管理運営については、施設の長寿命化を図るため「中長期営繕計画」に沿った大規模な改修等を行うとともに町の「公共施設の省エネルギー対策」に基づいた省エネ対策を今年度も継続して取り組み

ます。

また、施設利用者の増加を図るために利用者や各団体などに積極的な誘致を行い、安全で安心して利用できる快適な空間の提供に努めるとともに効率的な運営に心がけます。

(7) 友の会事業

文化事業への参加に特典を付与することで、会員の文化活動を促進することを目的とした事業（サンリーアイ倶楽部）として実施します。近隣文化会館の「友の会」との特典の共有化（PLUS+4 LINE）により、会員の確保や各種イベントにおける入場者の増に努めます。